

# 子どもが主体的に自由に生きること を応援する取り組みについて

まずは学校の中で多様な性を受け入れ、子どもの才能や能力に応じて可能性を伸ばせるよう、本人の希望を尊重した上で、学校や教職員の対応を変える発想が必要です。一方的な指導ではなくどうしたらいいのか一緒に考えることが大切だと思います。最優先すべきは学校環境の転換です。学校の環境が変わらず、学校に来られなくなった子どもたちの悩みを正面から受け止め、短絡的な対応ではなく「多様な子どもに対応する発想」がなければ、不登校をはじめと

学校を「今ここにいたい」  
 と思える居場所へ

## 教育委員会答弁

まず、なごや子ども応援委員会と学校が協働する取り組みについては、例えば、学校内で行われる研修の場などで児童生徒の捉え方や支援の方法

次に、なごや子ども応援委員会による子どもを応援する発想の醸成についてですが、生徒たちが行っている委員会活動も子ども応援委員会職員も一緒になって活動したり生徒たちから集めた声を反映した掲示板を作成したりしながら、子どもが主体的に自由に生きることとを応援する発想を広げているところでございます。また、子どもたちとの向き合い方について、保護者向けのお便りを発行するなどしております。

最後に、学校教育における学びの転換についてですが、令和2年度より小学校から順次実施されている新しい学習指導要

領を踏まえつつ、教育委員会では「すべての子どもに対し、一人ひとりに応じた個別最適化された学びを提供し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を推進する」ことを学校教育の努力目標に掲げ、各学校において授業改善に取り組んでおります。さらに、子ども一人ひとりの興味・関心や能力・進度に応じた学びを目指してナゴヤ・スクール・イノベーションション事業を立ち上げ、モデル実践校である小学校でプロジェクト型学習に取り組むほか、民

## 豊田かおる の意見



会の「スクールカウンセラー常駐」の取り組みにもかかわらず、主体的にも多様に過ごせない子どももいます。そうした学校の現状を目の当たりにし、個人質問を行いました。子どもはそれぞれ育つ環境が違います。外国にルーツを持つ子どもも増え、多様化が進んでいます。だからこそ多様性が「至極当然」となるよう、環境を整えるべきです。具体的には子どもの多様性を認め、一人ひとりに合わせた学びを提供する「エナプラン」が理想的。これは子ども一人ひとりを尊重しながら「主体性と「共生」の育成を目的にした教育です。縦割りで、学びたい教科、使いたい教材、共に学ぶ人を選択して学習活動を行います。実際にイエナプランは名古屋市・山吹小学校で導入され、子どもの主体性や共生する姿が確認されています。このように子ども一人ひとりを尊重する教育環境を作り上げることで、子どもたちが主体性を持ち、多様性を認め合って生きられるようになるのではないのでしょうか。



豊田かおる個人質問  
の動画はこちら

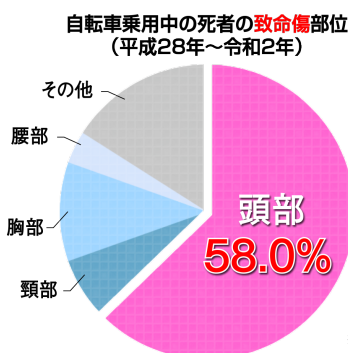


## 対談 | 子どもが主体的に自由に生きることを応援する取り組みについて

名古屋市では「なごや子ども応援委員会」の取り組みで、市内小中学校にスクールカウンセラーが常駐しています。学校とスクールカウンセラーの協働ができれば、子どもたちが悩みを相談したり、親御さんの悩みを相談できたりして、学校を「今ここにいたい」と思える居場所にする事ができるのではないのでしょうか。

## 自転車用ヘルメットの ルールが変わります

令和3年10月1日より、自転車利用者の乗車用ヘルメット着用が**全年齢で努力義務化**されます。

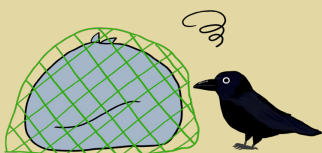


命を守るために  
大人も子どもも  
ヘルメットを  
かぶりましょう！



# カラスによるごみ散乱防止 対策についての調査

本市環境局が募ったカラスによるごみ散乱防止対策アイデアの中から、優秀アイデア3点を実際に制作して検証しました。どれも安い費用で簡単に作れ、効果も期待できるため、市民の皆さまも積極的に活用してみてください。



豊田かおる ユーチューブ



豊田かおる  
公式YouTube  
チャンネル  
はこちら

しかし現状「スクールカウンセラーの顔を知らない」という声や、親御さんが「スクールカウンセラーに相談したい」と担任の先生に伝えても、繋げてもらえなかったという声を伺っています。子どもが悩みを抱えていたら「学校のスクールカウンセラーに相談する」という手段を大人が提示してあげられるよう、なごや子ども応援委員会の取り組みを応援していきたいと考えています。

